

平成25年度 第5回市川市教育振興審議会

- 1 開催日時 平成25年12月2日(月) 14時から15時40分
- 2 場 所 市川市役所 第5委員会室
- 3 出席者 (敬称略、順不同)
 - (1) 会 長 大熊 徹
 - (2) 委 員 前田 泰弘・油井 宏子・晒科 里美・
角谷 好枝・中村 ふじ江
 - (3) 事務局 下川 幸次(教育次長)
津吹 一法(教育総務部長)・高坂 哲(同部次長)
永田 治(同部教育政策課長)
水越 英明・福田 修(同課主幹)
岡田 靖弘(同課副主幹)
吉成 悟・中俣 智文(同課主査)
赤石 欣弥(学校教育部次長)
萩原 洋(生涯学習部長)・千葉 貴一(同部次長)
- 4 議 題 第2期市川市教育振興基本計画について
- 5 提出資料
調査審議資料
 - ・市川市教育振興基本計画(案2)
 - ・市川市教育振興基本計画対照表
 - ・市川市教育振興基本計画(案2)成果指標目標設定シート

【14時 開会】

- 大熊会長
定刻となりました。
ただ今より平成25年度第5回市川市教育振興審議会を開催させていただきます。
本日の会議は、審議会委員10名のうち、4名欠席でございますが、市川市教育振興審議会条例第6条第2項の規定により、成立いたします。
それでは次第に入ります前に、事務局より本日の資料の確認をお願いいたします。

- 永田教育政策課長
本日の審議のため、事前にお送らせていただきました資料について確認させていただきます。
1点目として、次第
2点目として、調査審議資料5 市川市教育振興基本計画（案2）
3点目として、調査審議資料6 市川市教育振興基本計画対照表
4点目として、調査審議資料7 市川市教育振興基本計画
成果指標目標値設定シート
の以上4点でございます。
不足等がございましたらお申出ください。

- 大熊会長
ありがとうございました。
それでは早速、次第により進めさせていただきます。
本日の議題は、「第2期市川市教育振興基本計画について」でございますが、その審議に先立ち、「市川市審議会等の会議の公開に関する指針」第7条の規定に基づき、本議題に係る会議を公開するかどうかを決定いたします。
事務局にお尋ねしますが、本議題に、同指針第6条に規定する非公開事由は、ございますか。

- 永田教育政策課長
本議題につきましては、法令等で非公開とはされておらず、また、個人情報などの非公開情報も含まれておりませんことから、「市川市審議会等の会議の公開に関する指針」第6条に規定する非公開事由はございません。

- 大熊会長
それでは、本議題については、非公開事由はないとのことですので、会議を公開することとしてよろしいかお諮りいたします。
いかがでしょうか。

- 全委員

【異議なし】

- 大熊会長
ご異議なしと認めます。
それでは、本議題に係る会議を公開することと決定しました。
傍聴者の入場を認めます。

- 永田教育政策課長
只今のところ、傍聴者の申し出はございませんので、お進めください。

- 大熊会長
それでは、本議題の調査審議に入らせていただきます。
まず、次第の1「第2期市川市教育振興基本計画について」事務局より説明をお願いします。

- 永田教育政策課長
では、「第2期市川市教育振興基本計画について」ご説明する前に、前回、お集まりいただきました以降、これまでの経過についてご報告させていただきます。
8月22日、第4回市川市教育振興審議会において基本計画に関する意見として、「中間とりまとめ」を行い、大熊会長から宇田川委員長へご提出いただきました。
この中間とりまとめにおける指摘事項等をふまえ、事務局におきまして、計画の一部を再度、修正するとともに、成果指標について、平成25年度の現状値の調査、及び計画最終年の平成30年度における目標値の設定作業を行いました。
その後、10月28日に教育次長を会長とし、事務局の各部部長、次長、及び市長部局の関係次長で構成される「第2期市川市教育振興基本計画策定会議」を開催し、成果指標の目標値等について、検討いたしました。
以上が、これまでの経過でございます。
なお、この会議での意見をふまえて、まとめましたものが、本日、提出させていただきました「案2 調査審議資料5」でございます。
また、ここで、提出資料の概要について合わせて申し上げます。
第1期計画から7月に本審議会に提出させていただきました「諮問資料」、今回の「案2」の審議の経過での修正点を比較したものが、「市川市教育振興基本計画対照表 調査審議資料6」でございます。
また、目標値の設定理由を一覧にしたものが、「成果指標目標値設定シート 調査審議資料7」でございます。
本日は、成果指標の現状値の調査結果をご報告するとともに、平成30年度の目標値について、ご審議いただきたいと存じます。
では、「調査審議資料6 対照表」の11ページをお願いいたします。
現状値の調査方法、目標値の設定について、施策の「1-1-1人と関わる力を身につける活動の充実」の成果指標のNo.1「進んで挨拶すると回答する児童生徒の割合」を例にご説明いたします。
25年度の現状の調査結果は、90%でした。これは、市内公立学校の中学校2年生、小学校5年生全員へのアンケートによるものです。アンケート結果の分析等から、地域での挨拶に改善の余地があることから、5年後の目標値を100%と設定したものです。
このように、71の指標全てについて、児童生徒、保護者、教員への

アンケートを中心に現状を把握し、それぞれに示した設定理由に基づき、目標値を設定いたしました。

なお、個々の具体的な設定理由については、調査審議資料7の目標設定シートを合わせてご覧ください。

ご説明は以上でございます。

○ 大熊会長

それでは、審議に移りたいと思います。

ここでは、成果指標の目標値の設定を中心に話をしていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

また、成果指標が71ございますので、点検評価の時のように、施策の方向ごとに区切って確認していきたいと思います。

では、調査審議資料6の11ページ、1-1-1から15ページ、1-1-5までの11の成果指標について質問・意見はございませんか。

○ 大熊会長

12ページ、命を大切にする教育の推進の現状が69%とあり、目標が74%になっておりますが、設定理由を見ると、なぜ74%なのかが、わかりません。私の考えでは、現状から5ポイントアップで74%としていると思いますが、とりたてて理由のない場合は、目標値なので、きりのよい数字にした方がよいと思います。

2点目は、13ページ、いじめの認知件数が現状560件、目標が390件。設定理由を見ると、前年度並みの390件とありますが、前年度は587件で、その前の年が、479件となっておりますが、なぜ390件なのでしょう。

3点目は、1-1-5読書教育の推進で、理由が、さらなる向上を目指し設定したと書かれておりますが、平成22年度が80%、平成23年度が81%。そこからすると目標値が控えめではないかと思いますがいかがでしょうか。

○ 永田教育政策課長

はじめの74%でございますが、ご指摘の通りで、現状から5ポイントアップで74%と設定しているので、75%としても大きな変わりはないかと思えます。

次の390件については、平成24年度の目標値が380件を設定しておりました。これが未達なので、改めて設定しております。

3点目は、平成22年度から80%を達成しておりましたが、平成25年度は下がってしまったので、年、1ポイントアップで設定しております。過去の達成状況を踏まえて、もう少し高い目標を設定すべきだというご意見があれば、対応していきたいと考えております。

○ 大熊会長

2点目の質問、390件というのは、平成24年度の目標値からということが、わかりました。

1点目と3点目の質問については、数字をまとめた方がよいと思いますが、他の皆さんはいかがでしょうか。

- 前田委員
確認ですが、設定した目標値は、年、1 ずつ増加していくという理解でよろしいでしょうか。
- 永田教育政策課長
従前では、毎年目標値を設定していましたが、2 期計画では、最後の年の目標のみを示すようにしております。正直なところ、年、1 ポイントで 5 ポイントというのは、事務局としては、できれば避けたかったのですが、それぞれ所管として設定する場合、考え方としてわかりやすいことから結果として、こうなってしまったと捉えております。
- 大熊会長
30 年度の人たちが、見た時に、きりの良い数字の方が判断しやすいと思います。検討していただけたらと思います。
ほかの意見はございますか。
- 油井委員
いじめの認知件数イコール発生件数ではないと思います。気づかれないいじめもあると思います。ここが難しいところですが、認知件数を減らしていくことイコールいじめが減ったということになれば、うれしいと思います。また逆に言えば、これに近づかなくても実質的にいじめが減っていれば私としては、うれしいと思います。
- 大熊会長
ほかにかがででしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、18 ページ、1 - 2 - 1 の 3 つの成果指標について質問・意見はございますか。
- 大熊会長
こちら先ほどと同じように、単年度 1 % 増ということでしょうか。
- 永田教育政策課長
そういう指標もございます。
- 大熊会長
ほかにかがででしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、20 ページ、1 - 3 - 1 から 22 ページの 1 - 3 - 3 までの 7 つの成果指標について質問・意見はございますか。

- 大熊会長
20 ページ、1-3-1、「早寝・早起き・朝ごはんを実践している」と回答する児童生徒の割合ですが、現状は71%、目標値は73%になっています。単純に考えると、76%ですが、中学生の実態を見ると低いので、この目標値にしたのだと思いますが、いかがでしょうか。
- 永田教育政策課長
ご指摘の通りです。
- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。
- 前田委員
1-3-1にある、ライフスタイル調査は、対象の学年は、何年でしょうか。
- 永田教育政策課長
対象の資料が手元にないので、確認いたします。
- 前田委員
例えば、中3ですと、11時だと勉強をしないで早く寝るということになってしまうように、学年の特性で違ってくると思います。
- 大熊会長
これについては、後ほど確認をお願いします。
- 大熊会長
21 ページは、どちらも5ポイントアップではなく、3ポイントですが、何か理由があってのことでしょうか。何で、1年、0.6ポイントにしたのかが、わかりません。
- 永田教育政策課長
所管に確認いたしましたが、これまでの取り組みと成果の関係から経験的に導き出したという回答で、具体的な根拠についての確認はとれておりません。
- 大熊会長
22 ページ、1-3-3の設定理由などは、よくわかります。50.1点を目指すのは、目標が定まった実現可能な数字だと思いました。
- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、24 ページ、1-4-1から27 ページの1-4-4までの6つの成果指標について質問・意見はございますか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、29ページ、1-5-1から30ページの1-5-2までの6つの成果指標について質問・意見はございますか。
- 前田委員
1-5-2項目1で、外国語活動の授業が楽しいと思っている児童が、91%から96%に向上し、中学校へ入学したならば、中学校の英語の授業が楽しいと思う生徒は、小学校と同じ5ポイント増ではなく、加速度的に増えるのではないかと思います。
- 大熊会長
こちらも検討していただければと思います。
ほかにいかがでしょうか。
- 油井委員
1-5-1、「市川市の歴史や文化に関心がある」の目標が、50%とあります。何事も五分五分を超えることは、大切なので、期待を持って、見守っていきたいと思います。
- 角谷委員
1-5-2、英検3級と同等の力を有するというのは、どうやって判断するのでしょうか。また、これからの5年後は、50%より、もっと高くてもよいのではと思います。
- 永田教育政策課長
同等の力を有するとは、定期試験の結果を見て、担当の先生が判断しております。
- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、33ページ、2-1-1から34ページの2-1-2までの2つの成果指標について質問・意見はございますか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、36ページ、2-1-1から41ページの2-2-5までの8つの成果指標について質問・意見はございますか。
- 大熊会長
36ページ、2つ目の指標は、児童生徒の割合で、5ポイント増。設定

理由には、重要な課題であると書かれていることから、わかりますが、こちらにも今までにもありましたが、85%くらいにした方がよいと思います。

- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、44ページ、2-3-1の2つの成果指標について質問・意見はございますか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、47ページ、2-4-1から49ページの2-4-2までの4つの成果指標について質問・意見はございますか。

- 角谷委員
自分が学校支援コーディネーターをしておりますが、今年度、280人ということで、増えてきております。5年後の840人が、達成できればよいと思っておりますので、今後とも協力をお願いします。

- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、52ページ、3-1-1から53ページの3-1-2までの4つの成果指標について質問・意見はございますか。

- 大熊会長
3-1-1の目標値98%の設定理由には、100%を目標としたいが、すべての保護者から評価されるのは、時間がかかると思われるので、昨年度、最も評価の高かった園の98%を目標値としたと書かれておりますが、これは、よくわかります。

- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、56ページ、3-2-1から59ページの3-2-3までの4つの成果指標について質問・意見はございますか。

- 前田委員
3-2-1に市川スマイルプラン作成率があり、現状は20%になっていますが、どういう形で調査されたのでしょうか。
- 永田教育政策課長
各学校の実態把握によると書かれておりますので、ヒアリングをかけているものと思われま。
- 大熊会長
3-2-2の設定理由には、5年間で3ポイントの増加と書かれておりますが、目標では、5ポイント増加の87%になっています。これについては、いかがでしょうか。
- 永田政策課長
この3年間では、3ポイント増加をしておりますが、頭打ちの状態であることを考慮して、5年間で3ポイント、目標を85%に訂正いたします。
- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、62ページ、3-3-1から65ページの3-3-5までの7つの成果指標について質問・意見はございますか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは次に、67ページ、3-4-1から73ページの3-4-5までの7つの成果指標について質問・意見はございますか。
- 油井委員
72ページ、3-4-4の目標値112件の設定理由は、とても具体的でよくわかりました。質問ですが、施策の内容に「連携することで」と書かれていますが、その地域に住んでいる人を先生としてやってもらうというイメージでよろしいのでしょうか。
- 永田教育政策課長
その通りでございます。
- 大熊会長
先ほどの油井委員の話より、施策の内容の「連携することで」がない方が、内容に合うと思いますが、いかがでしょうか。

- 萩原生涯学習部長
お互いに行ったり来たりする相互関係なので、「連携する」という表現をいれています。
- 大熊会長
わかりました。
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは最後になりますが、75ページ、3-5-1についての成果指標について質問・意見はございますか。
- 大熊会長
市川市が、どういう教育をしているのか一般市民になかなか伝わりにくいです。教育いちかわは子どもを通して配布していますが、私立に通っている家庭には配られません。広報に教育委員会からのページを増やしていくことで、市川は、こんなに素晴らしい教育をしているのだということを伝えていくと、保護者との信頼関係も増すと思います。40%と控えめに書かれていますが、ますます増えることが大事だと思います。
- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。

【質疑なし】

- 大熊会長
それでは、これで終了になりますが、最後に全体を通して何かご意見はございますか。
- 中村委員
目標値とは関係ないのですが、何点か気になっている所があります。
はじめに、1-1-3、いじめの認知件数ですが、国の調査の結果を活用しているとありますが、何をもちいじめと捉えているのかが、わかりづらいです。全部把握してもらっているのかが、気になるところです。
次に、2-2-5、「学校は、特色ある取り組みや教育を進めていると思う」と回答する保護者の割合とありますが、子どもが通っている時、何度もアンケートに答えましたが、保護者としては、ほかの学校がどういうことをしているか、比べようがなく、自分の学校が特色ある取り組みをしているかわかりませんでした。数的に伸びてこないのは、そういう面もあると思います。質問に答えるのに悩む保護者は、多いと思います。
最後に、3-1-1、質問からは、親がやっていますかと聞いているように思えます。「幼稚園は」という言葉を加えた方がわかりやすいと思います。

- 永田教育政策課長
1点目のいじめの認知件数ですが、教員の判断だけではなく、いじめられていると感じている子どもの数も集計しているとのことでございます。
2点目の2-2-5については、ご指摘の通り、他校と比較できる環境が必要なので、広報活動に努めてまいります。
3点目は、言葉が足りないと思われまますので、修正をしていきたいと思ひます。
- 大熊会長
何年か前にパンフレットで全校の特色を示した一覧表をつくった覚えがありますが、いかがでしょうか。
- 永田教育政策課長
過去に作成しております。
- 大熊会長
折を見て、実施するとよいと思ひます。
- 油井委員
各学校は、すばらしい所があることを自信をもってアピールしていいと思ひます。それが、いずれ全市的に広がっていけば、保護者もわかってくるのではと思ひました。特に、2-4-2の設定理由に保護者の参加意欲は二極化の傾向があると書かれていますが、こういう取り組みをすることで、関心がない人にもわかってもらえることにつながると思ひます。
- 大熊会長
ほかにいかがでしょうか。
- 前田委員
感想ですが、調査をすることで、気づいていないことが、意識化され、加速度的に向上することがあります。その点からすると、3-2-1のスマイルプランの作成率がもう少し、上がってくるとうれしいと思ひます。
また、2-2-2、この中には、スタートプログラムやスタートプログラムに準じた連携も含まれていると思われまます、ほかの連関性なども見えてきそうなので、今後楽しみにしてまます。
- 角谷委員
ジュニアリーダー講習会に参加している人たちは、とても積極的で満足度も高いです。また、公民館の主催講座の内容に満足している人も99%と高く、自分たちの活動に満足してまます。このことから、参加する一歩を踏み出していくことを考えていかないといいないと思ひます。先ほどの二極化についても、取りかかりを考えていくことが大事だと思ひます。
- 晒科委員
子育てをましている上での感想ですが、アンケートを後回しにしてまますことがあったので、審議会に参加してまみて、今までのことは、申し訳ないと思ひました。アンケートも簡潔なのは、いいのですが、東になると大変

なので、パッと見てわかるアンケートを作成してもらえると助かります。
また、学校の特色を学校側から発信できないのであれば、P T Aの新聞も年2回出しているのので、活用してもらえればと思います。

- 大熊会長
審議会の意見もどこかで反映していただけたらと思います。
それでは、本審議会の審議は概ね終結したものと考えます。後の作業としましては、答申書の作成となります。計画決定の日程等からは年内の答申が必要となります。
そこで、委員の皆様にご提案ですが、答申書については、会長にご一任いただき、審議会を開催せず、教育委員会に提出することとさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

- 全委員

【一任賛成】

- 大熊会長
ありがとうございます。
では、私から答申書を提出させていただきます。
次に、次第2「その他」に移ります。
事務局よりお願いいたします。
- 永田教育政策課長
「その他」に入る前に、確認でございますが、本日、いただいたご意見等に対応した数値の調整も含めて、会長と相談するというので、よろしいでしょうか。
- 大熊会長
そのような提案がございますが、委員の皆様、いかがでしょうか。
- 全委員

【異議なし】

- 大熊会長
ありがとうございます。
- 永田教育政策課長
では、今後の予定について申し上げます。
12月7日から1月6日までの1ヶ月間、パブリックコメントを実施し、広く、市民の皆様から本日、お示ししました「案2」についてご意見を頂戴いたします。
また、決定いただきました通り、12月下旬には、大熊会長から、答申書を提出していただきます。
その後、答申及び市民意見等をふまえ、修正した最終案を1月9日開催予定の定例教育委員会において、議決していく運びになります。

今後の予定については、以上でございます。

なお、先ほど、前田委員よりご質問をいただいておりますが、早寝・早起・朝ごはんのライフスタイル調査の対象についてでございますが、全小学生、全中学生を対象にした調査でございます。追加でご報告いたします。

- 大熊会長
ありがとうございます。
それでは、各委員の皆様から何か連絡はございますか。

- 全委員

【連絡なし】

- 大熊会長
最後に事務局から連絡はありますか。

- 永田教育政策課長
特にございません。

- 大熊会長
それでは、これをもちまして、第5回市川市教育振興審議会を終了いたします。
どうもありがとうございました。

【15時40分 閉会】